

1 本時の概要

(1) 単元名 さまざまな国際問題(東京書籍「新しい公民 P194～197」)

(2) 単元及び授業の構想

中学3年の公民分野の最後の大単元となる「地球社会と私たち」の中の国際問題を取り扱った小単元「様々な国際問題」の内容から、これからのエネルギーについて考える。本単元では、前時に地球環境問題について、学習し、温室効果ガスによる地球温暖化をはじめとしたさまざまな地球環境問題を取り扱う。将来の世代の幸福も満たせる「持続可能な社会」をテーマに、私たちがどのようなことに取り組めるのかを考えていく単元となっている。本時では、前時の地球温暖化問題と関係するエネルギー問題について現状を理解し、これからのあるべきエネルギー構成について考えていく。

(3) 本時の目標

省エネルギーの推進、リサイクルの必要性、新しい資源・エネルギーの開発や利用など資源・エネルギーに関する世界的な課題の解決のために、世界各国の経済的、技術的な協力などが大切であることを理解するとともに、持続可能なエネルギー利用の実現について考察し、自分の考えをまとめる。

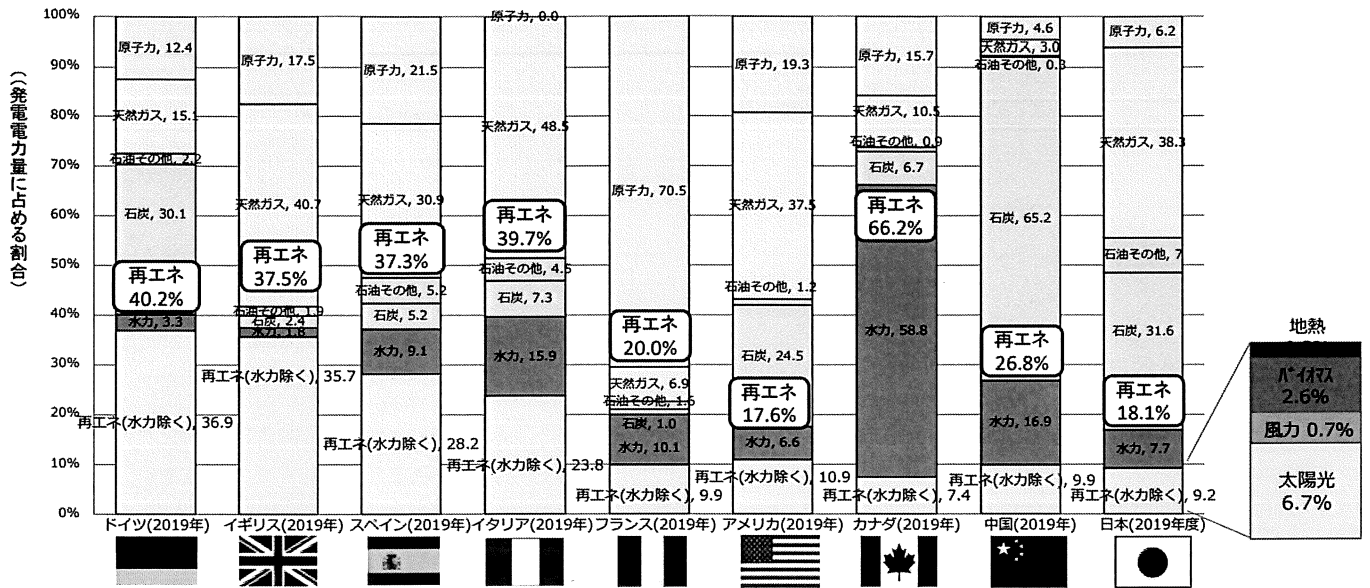
2 本時の学習過程

学 習 活 動	教師の支援○と評価□
○宇宙から見た夜の地球の写真を見て、以下のことを考える。 ①光っているところはどこか ②そこではどのようなことが行われているか ○資源・エネルギーに関する世界的な課題の解決のために何ができるかを、先進国と発展途上国に分かれてそれぞれの立場で考える。 ○日本のエネルギー供給の現状を確認する。 ○資料を参考にしながら、日本のこれからの電源構成比を「S+3E」の視点から考える。 ○本時の学習を活かしながら日本における持続可能なエネルギー利用の実現について個人で考え、文章で説明する。	○エネルギー消費量の推移や大量のエネルギー消費の世界への影響などを考えさせる。 ○世界各国の経済的、技術的な協力などが大切であることを気付かせる ○資料を活用し、それぞれの地域の事情を理解させる。 ○それぞれの発電の特色を考慮し、「S+3E」安全性(Safety)、安定供給(Energy Security)、経済効率性(Economic Efficiency)、環境適合(Environment)のバランスを考慮させる。 □持続可能なエネルギー利用の実現に向けて、取り組むべきことを、エネルギー政策の現状をふまえて説明している。

3 授業の観点

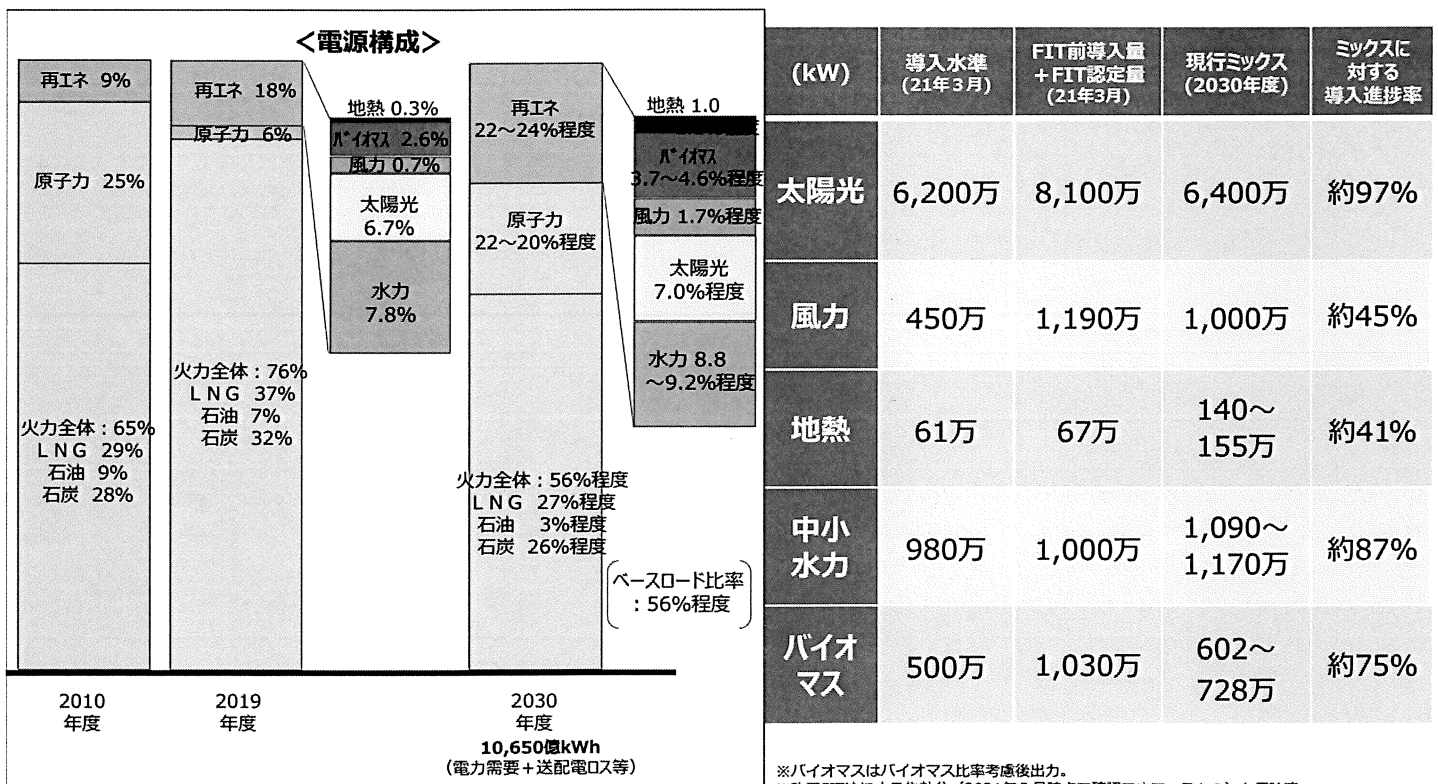
- ・世界各国の現状や日本のエネルギー政策などをふまえて、これからの日本のエネルギーの活用について考えることができたか。

①世界の動向：再生可能エネルギーの発電比率



主要再生可能エネルギー(水力除く)	風力 20.9%	風力 20.0%	風力 20.5%	太陽光 8.1%	風力 6.1%	風力 6.8%	風力 5.1%	風力 5.4%	太陽光 6.7%
再生可能エネルギー発電量	2,424 億kWh	1,205 億kWh	1,001 億kWh	1,159 億kWh	1,131 億kWh	7,670 億kWh	4,273 億kWh	20,150 億kWh	1,852 億kWh
再生可能エネルギー発電量(水力除く)	2,227 億kWh	1,146 億kWh	763 億kWh	695 億kWh	562 億kWh	4,772 億kWh	477 億kWh	7,424 億kWh	1,056 億kWh

②日本の動向：現行「エネルギーミックス」実現への道のり



「2030年に向けた今後の再エネ政策」資源エネルギー庁新エネルギー課 2021年10月

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/community/dl/05_01.pdf